

会 議 録

会議の名称	平成28年度第6回 藤岡地域会議
開催日時	平成28年11月22日午後6時30分開会・午後7時15分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	・地域予算提案制度について ・その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎会長	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 地域予算提案制度について 前段として、観光案内看板整備事業の進捗状況について報告を受ける旨を述べた。
◎会長 ○所管課	<説明> 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。
◎会長 ◎A委員	<質疑・意見等> 委員に対し、意見を求めた。 看板のリニューアルが完成した後、市としてお披露目について何か考えているのか。
○所管課 ◎B委員	地域会議委員の皆さんの提案と、栃木女子高校の生徒がデザインした渡良瀬遊水地キャラクターのコラボレーションで完成される事業である。まだ構想段階ではあるが、現地で地域会議委員の皆さまと女子高校の生徒とでお披露目していただき、新聞等の報道機関に取り上げていただき情報発信することを考えている。 資料のデザイン案には、看板の地名が「栃木市藤岡町」ではなく「栃木市藤岡地域」と表記されているが、これでよろしいのか。
◎C委員	私が参加している団体を通して市に看板を寄贈した際にも、調整の結果、「藤

◎D委員	岡町」ではなく「藤岡地域」と記載することとなったという事例がある。
◎E委員	今後のこともあるので「藤岡地域」とすべき理由を確認したい。
◎会長	市としては、合併した栃木市の一体感を表すため、「藤岡町」ではなく「藤岡地域」という表現に統一しているという説明であった。さらに申し上げると、旧藤岡町地内には、住所の標示がないために道をたずねる方が多い。そこで、地域協議会の時代に、要所要所で良いから電柱などに住所を記載したらどうかという提案をしたことがある。また、都賀地域では、苺の形の看板に住所を標示しているようだが、藤岡地域にも住所を標示した看板等があると良いと考える。
◎C委員	まず、問題提起があった観光案内看板への地名表記については、理由がはっきりしたので、「栃木市藤岡町」ではなく「栃木市藤岡地域」として進めていただくこととしたい。もう一方で、看板が設置されている場所の住所を、看板に記載したらどうかという提案があったが、いかがか。
◎会長	観光案内看板の本来の役割は、ここからが藤岡町だと示すことであったのだから、対外的に示す意味で住所の記載をしてもよろしいのではないかと。
○所管課	住所の標示について、ご意見が出ているところだが、最終的な看板の内容について、いずれかの機関に対し申請し承認を得る必要があるのか担当課に確認したい。
◎F委員	庁内の関係課とは調整済みであり、改めて承認をもらう必要はないと認識している。
◎会長	この事業は、藤岡地域内各所に設置されている観光案内看板の役割が失われてきた状況の中で、地域予算を活用してラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地を有する藤岡地域をアピールしたいという考えから提案した経緯がある。今回は、担当課が示した案で進めていただければいかがか。看板に住所の記載が必要であるとの意見については、今後、事業を検討していき、違う視点から看板作成事業が発案された際に反映させるようにすればよろしいのではないかと。
◎会長	では、案のとおり担当課において進めていただくことでよろしいか。
	— 了承 —
◎会長	藤岡産業振興課に退席を求めた後、引き続き後段のサイクリング関連事業の協議に入ることを述べた。
◎会長	<説明>
○事務局	事務局に対し、協議事項の説明を求めた。
◎会長	資料に基づいて説明した。
◎A委員	<質疑・意見等>
	委員に対し、意見を求めた。
	提案者として、サイクリング事業について申し上げる。この件を提案したきっかけは、テレビ放送で那須の道の駅で電動アシスト自転車の貸し出しをしていることを知ったことである。那須には、傾斜地の中に数多くのミュージアムがあり、

<p>◎F 委員</p>	<p>観光して廻るのが困難だということで電動アシスト自転車を導入したようである。しかし、5月に地域会議でこの提案をした後、小山市と野木町共同でシェアサイクル事業を平成29年1月から開始するとの発表があった。これから栃木市で同様の事業に取り組むということでは効き目がない。私としては、この件の審議についてはいったん終結させていただき、次期地域会議での検討材料の一つとして申し送りしたいと考えている。</p>
<p>◎会長</p>	<p>確認したいのだが、この件は、次期地域会議の中であらためてゼロから検討する際の材料としていただくということで、次期地域会議において最優先で取り組んでいただくよう引継ぎをするという話とは異なるという認識でよろしいか。</p>
<p>— 了承 —</p>	
<p>◎会長</p>	<p>事務局に対し、この件の引継ぎを依頼し、次の議題に入ることを述べた。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤岡地域まちづくり実働組織の設立に向けた進捗状況について
<p>◎会長 ○事務局</p>	<p>事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p> <p>資料に基づいて説明した。</p>
<p>— 質疑・意見等なし —</p>	
<p>◎会長</p>	<p>委員に対しその他の協議事項の有無について確認したところ、特にないため、議事の終了により以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>
<p>○事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>委員に対し、その他の連絡事項等の有無を確認したところ特にないため、事務局から次のとおり事務連絡を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期地域会議委員の選任スケジュールについて ・栃木市総合防災訓練の実施について
<p>○事務局</p>	<p>次回会議は1月22日（火）午後6時30分から開催予定である旨連絡した。</p>
<p>○事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>午後7時15分をもって第6回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	飯 塚 俊	委 員	山士家 力
委 員	池 田 昇	委 員	石 川 悦 史
委 員	関 口 定 幸	委 員	田 中 潤
委 員	田 村 孝 子	委 員	毛 塚 麻由美
委 員	酒 井 一 則	委 員	山士家 光 幸
委 員	萩 原 繁		

欠席者（委員）

委 員	小笠原 義 仁	委 員	福 地 智 子
委 員	町 田 佳 子		

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

飯 塚 勝（課長）	山 市 進（主幹兼地域づくり推進係長）
亀 田 ミユキ（主査）	五十畑 文寛（主査）

出席者（担当課）

産業振興部藤岡産業振興課

久 村 順 利（課長補佐）